

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 エフバーカーコーポレーション		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 555-0033 大阪府大阪市西淀川区中島2-4-16	
本票作成	部署名：施設部				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	パン製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県加賀郡吉備中央町加茂市場2100	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和 2 年度)	(令和 5)年度排出量	目標年度(令和 5 年度)
	4,879 t CO ₂	5,842 t CO ₂	4,732 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 5)年度排出量
	①	岡山工場	5,842 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 3 年度	～	令和 5 年度	(3 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 26.1 %	3.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(千個)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		0.115 t CO ₂ /(千個)	0.145 t CO ₂ /(千個)	0.111 t CO ₂ /(千個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 5 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

電気に関しては、省エネ取り組みや太陽光導入(2024年2月)により使用量自体は徐々に削減ができたが関西電力から中国電力に変更したことによる二酸化炭素排出係数の上昇を吸収出来るほどの取り組みには至らなかった。
ガスに関しては、蒸気廃熱利用によるボイラーの給水予熱を取り組んだが思った結果がでなかった。

【推進体制】

省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制のもと
エネルギー使用状況確認及び日常業務により省エネ活動

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(令和5年度実施分)</p> <p>太陽光導入(2024年2月) 蒸気廃熱利用によるボイラー給水予熱 蛍光灯からLED化(2025年8月100%を目標として進める) 室外機・空調機のフィン定期清掃 空調機・給排気のフィルター清掃 冬季の不必要な空調機の停止 スチームトラップの点検・整備</p> <p>(今後実施予定分)</p> <p>電力会社変更・契約変更 (中国電力→関西電力 CO2フリー電力) 蛍光灯からLED化(2025年8月100%を目標として進める) 室外機・空調機のフィン定期清掃 空調機・給排気のフィルター清掃 冬季の不必要な空調機の停止 スチームトラップの点検・整備</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	太陽光発電導入
その他	無	

【その他特記事項】

太陽光導入(2024年2月)と今年8月よりCO2フリー電力の契約をしたため次年度より大きく電気の使用量と二酸化炭素排出量を削減できると思われる。